

弱溶剤可溶1液型エポキシ樹脂防錆プライマー

# DI1A ダイヤ ヒスイエポサビ#100

F☆☆☆☆

ダイヤヒスイエポサビ#100は、幅広い素地・旧塗膜に適応する弱溶剤系の1液型錆止め塗料で優れた防錆性・付着性を長期間にわたり発揮し、メンテナンス周期の長期化に貢献します。また、部位によって最適な仕上材もご用意、システムとして錆止め塗料をご提供すると共に作業面積に応じて刷毛・ローラーの施工器具を選べるため、効率よく作業いただけます。

- 環境にやさしい弱溶剤タイプ。
- 優れた付着性を持っています。
- 各種金属・旧塗膜へ施工可能。
- 優れた防錆力を発揮。
- 刷毛・ローラーでの施工OK。
- 扱いやすい1液タイプ。

# ダイヤヒスイエポサビ#100

## ■標準施工工程

工程	材料名	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間※3		施工用具	
					工程内	工程間		
1	素地調整	●電動工具・手動工具を用いて劣化した旧塗膜を除去し、発錆部はSPCC-SP3 (ISO St3) まで除錆して下さい。 ●塗装面のゴミや埃、油類は取り除いて下さい。						
2	※1※2 下塗り	ダイヤヒスイエポサビ#100 ダイヤシンナーN	15kg 0~6%	0.14~0.16kg/m <sup>2</sup> 94~107m <sup>2</sup> /缶	1	—	4時間以上	刷毛・ローラー

注) SPCC…Steel Structures Painting Council (アメリカ鉄鋼構造物塗装審議会) ISO…International Standard(ISO 8501-1:1998)

※1 下地がアルミ・ステンレス(SUS304以外)の場合には、ダイヤハイエボプライマーを使用して下さい。

※2 ダイヤヒスイエポサビ#100の塗布量は厳守して下さい。塗布量が少ない場合、点錆が発生するおそれがあります。

※3 間隔時間は標準状態(23℃、50%RH)での時間を示します。

## ●上塗り

工程	材料名	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具	
					工程内	工程間		
3	上塗り	ダイアナチュラルフッソ A液 B液 ダイヤシンナーN	14kg 2kg 1~4% 0~2%	0.2~0.3kg/m <sup>2</sup> 53~80m <sup>2</sup> /セット/2回	2	4時間以上 7日以内	—	スプレー 刷毛・ローラー
	上塗り	ダイアナチュラルシリコンType2 A液 B液 ダイヤシンナーN	12kg 2kg 1~2% 0~1%	0.25~0.35kg/m <sup>2</sup> 40~56m <sup>2</sup> /セット/2回	2	3時間以上 7日以内	—	スプレー 刷毛・ローラー
	上塗り	ダイヤ1液ナチュラルウレタン ダイヤシンナーN	15kg 1~2% 0~1%	0.25~0.35kg/m <sup>2</sup> /2回 42~60m <sup>2</sup> /缶/2回	2	3時間以上	—	スプレー 刷毛・ローラー
	上塗り	ダイアナチュラルウレタン A液 B液 ダイヤシンナーN	12kg 2kg 1~2% 0~1%	0.25~0.35kg/m <sup>2</sup> /2回 40~56m <sup>2</sup> /セット/2回	2	3時間以上 7日以内	—	スプレー 刷毛・ローラー

※ 他に1液ナチュラルシリコン、2液ナチュラルシリコン等弱溶剤系上塗りが適用できます。

## ■適用下地

金属屋根、鉄鋼構造物、階段手摺り、ダクト類、各種タンク、工場パイプ、看板など

## ■適合旧塗膜

OP、FP、アルキッド、アクリル、ポリウレタン、変性シリコン、特殊ポリエステル樹脂塗料

## ■包装単位

ダイヤヒスイエポサビ#100 ……15kg缶

ダイヤシンナーN ……16%缶

## ■施工・保管上の注意点

### 【塗装面の調整(新設)】

①素地に付着している塵、汚れ、油類、レタンス等を完全に除去して下さい。

②雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。

### 【塗装面の調整(新設・改修共通)】

①屋上防水、目地排水管など水の浸透が予想される箇所については、事前に十分点検し適切な処置をして下さい。

### 【塗装面の調整(改修)】

①各現場の改修工事仕様に基つき劣化部分の補修や既存塗膜の処理(ケレン、清掃)などを行なって下さい。

②脆弱層が厚い場合には、取り除いてから施工して下さい。

③チョーキングは、サンダー、ワイヤブラシ等でケレン除去して下さい。

④既存塗膜の種類によりフチンク(シワ)を生じることがありますので、あらかじめ目立たない箇所を確認して下さい。

### 【材料の保管・管理】

①開封した材料は必ず密封し、直射日光や雨露を避けて保管して下さい。

②材料の保管は凍結や温度上昇による変質を避けるため、気温5~35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。

③ダイヤヒスイエポサビ#100、ダイヤシンナーNは危険物ですので、火気や換気に十分注意して下さい。

④空気中の水分と反応しますので一度開封した塗料は、長期保存が出来ません。ご注意ください。

### 【施工】

①気温5℃以下、降雨、降雪、強風下および湿度85%以上の場合、または予想される場合には施工を避けて下さい。また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。

②材料は使用前に十分攪拌し、均一してから使用して下さい。配合割合を誤りますと、成膜不良や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。

③材料は付着乾燥しますと取れませんが、完全に養生をして下さい。塗付面周辺の養生を完全に行ない、施工時塗物の周辺に飛散しないように注意して下さい。また、塗付後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除きますと埃が残り、凹凸となります。

④乾燥時間は、温度、湿度、および、風等により差異を生じます。

⑤コンプレッサーを使用する場合は必要十分な能力以上のものをご使用下さい。

⑥下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。

⑦施工にあたっては、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げして下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因になります。

## ■標準色 3色

ブラウン(日塗工E09-40L近似)

グレー(日塗工EN-70近似)

クリーム(日塗工E25-90B近似)

⑧施工後24時間以内に降雨、結露等があった場合、水分の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。

⑨本施工に入る前に試験塗りをを行い、施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりがムラにならないよう確認して下さい。

⑩希釈する場合、希釈量を厳守して下さい。薄め過ぎると防錆機能が十分に発揮されません。

⑪常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。

⑫安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。

⑬一度に厚く塗ると色分けや発泡が生じることがあるため、間隔時間を守り、規定回数以上に分けて塗布して下さい。

⑭塗装下地の差によって、塗布量が変わる場合があります。

⑮アスファルトや無機系などの再接着塗料が塗られている下地については、付着性が十分に発揮されないおそれがありますので、ご使用の場合は最寄りの営業所へご相談下さい。

⑯可使時間及び塗装間隔は厳守して下さい。層間密着性の低下の原因となります。

⑰使用した器具類は直ちに洗浄して下さい。放置しますと硬化して洗浄することが難しくなります。

### 【安全衛生上の注意】

①取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。

②取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行なって下さい。

③子供の手の届かない所に保管して下さい。

④作業中・作業後は十分換気を行って下さい。

⑤廃塗料、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

⑥目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。

⑦誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。

⑧中身を使い切ってから廃棄して下さい。

⑨皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。

⑩臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

### 【その他】

⑪その他、詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせ下さい。

⑫施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点については仕様書等をご確認下さい。

⑬施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート(SDS)をご確認下さい。

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト <https://www.dia-dyflex.jp/> にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たに **シーカ・ジャパン株式会社** としてスタートいたしました。

( '23.8月現在 ) '23.08. 400 SJ